

# 北部保健所(宇佐・高田地区)の感染症情報

2026年 第16週(4月13日~4月19日)

4月

## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告があります。(2.00人/定点医療機関あたり)

A群溶血性レンサ球菌によって引き起こされる感染症で、小児に多い急性の咽頭炎です。潜伏期間は2~5日とされ、手指や飛沫を介して感染します。

高熱とのどの痛みで始まり全身に赤い発疹広がります。

合併症として肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などを起こすことがありますので注意が必要です。

初期症状は風邪に似ていますが、ウイルス性の風邪とは違い、抗生物質がよく効きますので、薬をきちんと服用して、除菌することが大切です。



## 感染性胃腸炎の報告数が減少していますが、引き続きご注意ください。(2.00人/定点医療機関あたり)

細菌又はウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

原因はウイルス感染(ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルス)などが多く、そのほかにも細菌性のものもみられます。

主症状は嘔吐と下痢であり、脱水症状、電解質喪失症状、全身症状などがあります。

嘔吐又は下痢のみの場合や、嘔吐の後に下痢が見られる場合と様々で、

症状の程度にも個人差があり、37~38℃の発熱がみられることもあります。

ノロウイルスなどはアルコール消毒は効きにくいので、最も大切なのは手を洗うことです。

特に排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

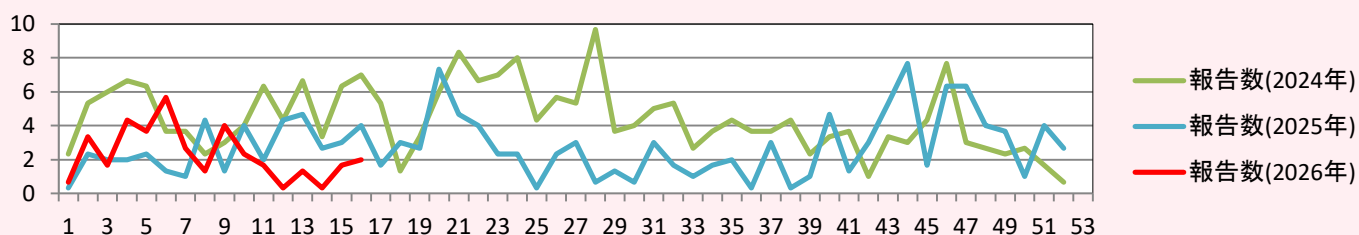
集団発生を起こすことがありますので、嘔吐物や便を処理する時は、

使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

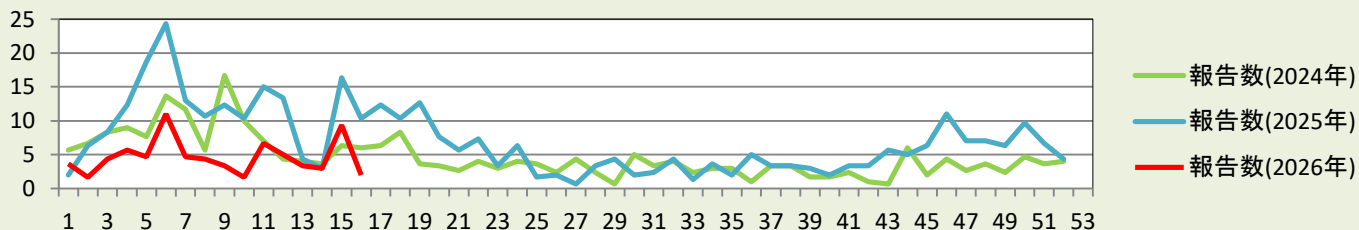


	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	(みずぼうそう)水痘	手足口病	(リンゴ病)伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	(おたふくかぜ)流行性耳下腺炎	マイコプラズマ肺炎	
	A型	B型	不明													
0歳					0.33											
1~3歳		0.20			0.33			0.33			0.67					
4~6歳							1.67	0.33								
7~9歳								0.33			0.33					
10~14歳							0.33	0.67								
15~19歳								0.33								
20歳以上																
計		0.20			0.67		2.00	2.00			1.00					
70歳以上(再掲)																
前週		0.80		0.80	0.67		1.67	9.33			0.33					
		0.80														

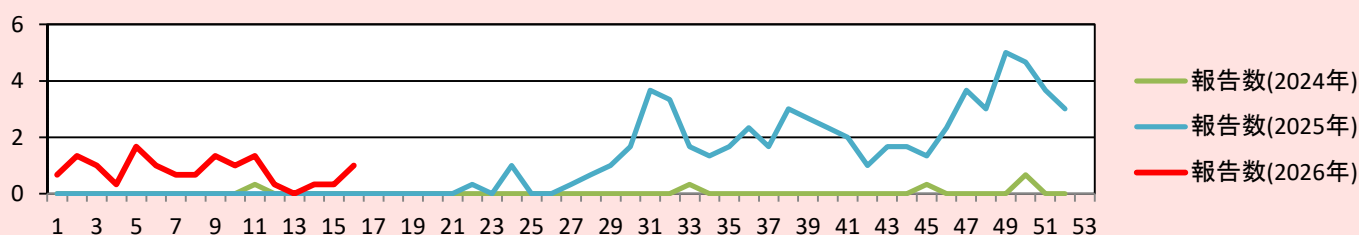
### 定点当たり報告数 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



### 定点当たり報告数 感染性胃腸炎



### 定点当たり報告数 伝染性紅斑(リンゴ病)



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

- ・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指します。
- ・「注意報」: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

お問い合わせ

北部保健所  
豊後高田保健部

0979-22-2210  
0978-22-3165

[a12089@pref.oita.lg.jp](mailto:a12089@pref.oita.lg.jp)